

平成18年4月14日

第108回光応用・視覚技術委員会議事録

光応用・視覚技術委員会  
委員長 高橋 信一

- . 日 時：平成18年1月27日(金) 14:00～17:10
- . 場 所：日本交通協会第2会議室
- . 出席者：高橋委員長、石井、岡田、清水、関根、玉川、山羽、神野、堀内 各委員  
篠田、本田 各幹事

. 配布資料

- No.108-01 第107回光応用・視覚技術委員会議事録(案)
- No.108-02 第66回基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会資料
- No.108-03 英語論文特集
- No.108-04 光応用・視覚技術員会のホームページ
- No.108-05 医療のために光応用新技術調査専門委員会の成果報告に関して
- No.108-06 活動資金報告書
- No.108-07 新しい光源とモデリング・計測調査専門委員会
- No.108-08 リソグラフィ先端技術調査専門委員会
- No.108-09 安全・安心のための赤外線技術調査専門委員会
- No.108-10 調査専門委員会の活動計画
- No.108-11 技術委員会活動計画案
- No.108-12 電気学会と他学会の共催研究会の連絡と研究会プログラム
- No.108-13 光応用・視覚技術委員会名簿
- No.108-14-1 選抜論文集 医療のために光応用技術
- No.108-14-2 医療のために光応用新技術調査専門委員会解散報告書

. 議事

会議に先立ち、高橋新委員長の挨拶並びに玉川新委員の紹介が行われ、各委員の自己紹介を行った。

1. 前回議事録の確認

配布資料 No.108-01 に基づき、篠田幹事より前回議事録が読み上げられ、承認された。

2. 報告および審議事項

2.1 A部門調査研究運営委員会報告

高橋委員長より配布資料 No.108-02 に基づき第66回A部門調査研究運営委員会の報告並びに連絡事項などについて、以下のような報告があった。

- 1)平成18年度電気学会全国大会のシンポジウムに「JABEE 認定で何が変わるか！」に決定した報告があった。
- 2) JABEE がワシントンアコードに正式加盟したこと、大学院版 JABEE の議論が急進展していることの報告があった。

- 3) A部門HPの現状について、各技術委員会がその責任で更新履歴、委員会概要、委員会名簿、委員会議事録、年度活動計画、調査専門委員会、問合せ先、リンクを掲載する必要がある旨の報告があった。
  - 4) SCI登録を目指すため、英文論文化、投稿料の低額化などの検討事項の報告があった。
  - 5) 技術報告書を単行本として出版するには収支の概算も含めて企画書を提出する必要があるとの報告があった。
- 2.3 編集委員の選出について
- 高橋委員長より編集委員に関して説明があり、白水委員が編集委員の2年の任期を終了するため、後任について審議を行い、谷治環氏(埼玉大学)が推薦されたが、最終決定は高橋委員長に一任することになった。
- 2.4 A部門誌英文論文特集について
- 網脇委員より提出された配布資料No.108-03に基づき、高橋委員長より英文特集号「Special Issue on Infrared Technology」を企画提案の説明があり、審議の結果、企画提案が承認された。
- 2.5 光応用・視覚技術員会のホームページ
- 高橋委員長より配布資料No.108-04に基づき、本技術委員会のホームページ(HP)を高橋委員長の研究室のHPの下に平成17年11月に立ち上げた旨の報告があった。HPで本技術委員会の議事録を公開するかの審議を行い、当面は掲載しない方向とした。
- 2.6 医療のために光応用新技術調査専門委員会の成果報告に関して
- 清水委員より配布資料No.108-05, No.108-14に基づき、標記に関して説明があり、審議の結果、成果報告を研究会開催に変更することを了承した。研究会は本年6~7月頃に開催予定とした。
- 2.7 調査専門委員会の活動報告
- 1) メディアデバイス・視覚システム調査専門委員会  
山羽委員より配布資料No.108-06に基づき第5回ジェロンテクノロジー国際会議の活動資金の報告があった。
  - 2) 新しい光源とモデリング・計測調査専門委員会  
神野委員より配布資料No.108-07に基づき委員会報告がなされた。  
第5回委員会は2月7日に「PDPのシミュレーション」に関して、第6回委員会は3月前半に「Xeエキシマランプのシミュレーション」に関して講演をしていただく予定である旨の報告があった。
  - 3) リソグラフィ先端技術調査専門委員会  
堀内委員より配布資料No.108-08に基づき委員会報告がなされた。3月3日に開催する研究会の概要が説明された。  
第3回委員会は9月30日に開催し、「NEDOの半導体ロードマップと半導体関係プロジェクト」および「EUVリソグラフィでの反射マスク上斜め入射効果の転写特性解析」について講演していただいた。
  - 4) 安全・安心のための赤外線技術調査専門委員会  
網脇委員より提出された配布資料No.108-09に基づき篠田幹事より委員会報告がなされた。  
第1回委員会は12月2日に開催し、委員会のあり方、調査項目、委員構成、今後の進め方などが審議された旨の報告があった。
- 2.8 平成17年度、18年度の活動計画について

配布資料No.108-10及びNo.108-11に基づき、各調査専門委員会の活動日程の確認を行った。篠田幹事より計測技術委員会から東京支部連合研究会において「光応用計測(仮)」に関する合同研究会の開催の提案の説明があり、審議の結果、承認された。メディアデバイス・視覚システム調査専門委員会が平成18年6月に終了予定であるため、平成18年7月から画像・視覚情報応用技術調査専門委員会(仮称)を立ち上げることとした。9月に開催される東京支部連合研究会の前後で産業技術総合研究所の見学会を開催することとした。

#### 2.9 電気学会と他学会の共催研究会開催に関して

篠田幹事より配布資料No.108-12に基づき電気学会と他学会の共催研究会開催に関する連絡事項があった。

#### 2.10 委員の構成に関して

高橋委員長より本委員会の構成について、定員15名に対して現在12名であることから、新たに谷治環氏(埼玉大学)中瀬真氏(社団法人電子情報技術産業協会)の委員への推薦が行われ、審議の結果、承認された。

#### 2.11 委員会名簿の確認

配布資料No.108-13に基づき名簿の確認を行い、石井、岡田、清水、山羽各委員の所属等の変更・修正を行った。

#### 3. 次回委員会について

日時：平成18年4月14日(金)14:00~17:00

場所：日本交通協会第1会議室

以上